

選手・監督注意事項

1. 2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則および本大会申合せ事項による。
2. 選手招集について
 - (1) 招集は各スタート地点・競技場所において、プログラム記載の競技開始時刻10分前より行う。
 - (2) 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、他の種目に出場していて招集時刻に間に合わない場合は、1種目目の招集完了時刻までにプログラム添付の「2種目同時出場届」を第4コーナー付近器具室内の競技者係の競技役員に提出すること。
 - (3) 混成競技の第1日目、第2日目の最初の競技種目については、競技日程記載の時刻とする。ただし、以降の競技種目は混成競技役員の指示に従い、混成控室に集合すること。
 - (4) 欠場をする場合は、招集完了時刻までに「欠場届」に必要事項を記入し、第4コーナー付近器具室内の競技者係に提出すること。ただし、事前にわかっている場合は、「欠場届(団体用)」に記入の上、該当種目実施日の8:30まで上記と同場所に提出すること。
3. アスリートビブスについて
 - (1) アスリートビブスは選手登録時に配布されているものを、そのままの形でユニホームの胸部と背部に着けること。ただし、跳躍種目に出場する選手は、胸部または背部のいずれか一方でよい。
 - (2) トラック競技に出場する選手は選手登録時に配布されている腰アスリートビブスをつけること。ただし、1500m以上の種目と4×400mRの第4走については、招集時に配布される通し番号の腰アスリートビブスを着用すること。
4. トラック競技での不正スタートは1回で失格とする。
5. イエローカードの取り扱いについては競技規則162条5の国内適応とする。
6. スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
7. シューズの靴底(ソール)の厚さについて(WA規則TR5に準ずる)
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目(4×100mR、4×400mRを含む)は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
8. リレー競技について
 - (1) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもこの競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーの少なくとも2名はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2名以内に限り他の競技者と交代することができる。
 - (2) オーダーは、各ラウンドともプログラム添付のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに第4コーナー付近器具室内の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
 - (3) リレーに出場するチームは、上下同一のユニホームを着用すること。
9. 跳躍競技のバーの上げ方を次の通りとする。(コンディションにより変更することがある。)

第1位および北信越大会出場の見定めは、棒高跳は5cm、走高跳は2cmの上げ下げにより行う。なお、棒高跳の参加者は競技開始前までにアップライトの申告書を競技者係に提出すること。その後、位置を変更したい場合は跳躍審判員に申し出ること。

種目	性別	練習		バーのあげ方								
走高跳	一男 高男	1.60	1.80	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	1.98	…
	混成男	1.35	1.60	1.40	1.43	1.46	1.49	1.52	1.55	1.58	1.61	…
	一女 高女	1.30	1.50	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	…	…
	混成女	1.10	1.30	1.15	1.18	1.21	1.24	1.27	1.30	1.33	…	…
棒高跳	一男	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00	4.20	4.30	…	…	…
	一女 高女	1.60	2.80	1.60	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.70	…	…
	高男	2.20	4.00	2.40	2.60	2.80	3.00	3.20	3.30	3.40	…	…

10. フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。
 - (1) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。
 - (2) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。そのマーカー

はサークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

11. フィールド競技（棒高跳を除く）は、4人以上（または各競技者の最初の試技）の場合、試技時間は1分とし、試技時間を超えると無効試技になるので注意すること。
12. フィールド競技において参加人数多数の場合、審判長の判断によりパスラインを設けることがある。男子三段跳は原則として12m板を使用するが、出場選手の最高記録やコンディション等により11m板とする場合がある。その場合1ピットでの実施となる（当日朝の顧問会議にて決定）。女子三段跳は9m板で実施する。
13. 5000mWは、3000mを男子は23分以内、女子は25分以内に入れなかった時点で競技を中止する。
14. プラスアルファの選出について
 - (1) 記録の上位者から順に選ぶ。ただし、1/100秒まで同じ記録の場合は、1/1000秒まで記録を出し、0.001秒以上の差があれば着差ありとして順位を決定する。
 - (2) 着差がないと判断された場合は、該当者を招集し抽選により決定する。
15. 予選がある場合、欠場により決勝ができる人数、チーム数になっても予選は実施する。
16. 競技場内での助力は禁止とする。
17. 競技用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。（北信越総体に準ずる）
18. 各自が使用したマーカーなどの用器具類は必ず指定の場所に後始末すること。
19. 各学校割り当ての補助員は監督の責任のもとで大会運営に協力すること。
20. 学校対抗について
 - (1) 男子および女子別の種目得点合計によって順位を決定する。
 - (2) 各種目得点は、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。
21. 表彰について
 - (1) 表彰は各種目3位まで行う。表彰式は行わず、成績発表後にロビーの机上に賞状を置き並べるので各自持ち帰ること。ロビー入り口外北側に1位から3位までの表彰台を用意するので、密にならないよう最大限注意し、写真撮影をしてもよい。
 - (2) 男女総合は男女とも6位まで表彰する（同点の場合は上位入賞数の多い学校を上位とする）。
22. 北信越大会出場について
 - (1) 本大会は各種目6位（6名）までの入賞者は、北信越大会出場資格を得る。ただし、競歩・混成競技、女子三段跳、女子ハンマー投、女子棒高跳は4位までの入賞者4名までが資格を得る。
 - (2) 北信越大会出場者の決定については（6位以上の入賞者が6名を越えたとき）
 - ・トラック競技種目の場合は、6位同着の場合、該当者はすべて対象となる。
 - ・高さを競う競技の場合は、1位決定ルールを適用し、該当者の1回の追加試技で決定する。追加試技で決められない場合は繰り返す。
 - ・1位決定戦と北信越参加者決定戦が同種目で行われる場合は1位決定戦から行う。
23. 大会時の事故やけがについては、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。
24. 肖像権侵害・不審者対応について
 - (1) 本大会は無観客で実施するため、撮影許可証は発行しない。
 - (2) 撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求められることがある。事案によっては退場を求める。
 - (3) 報道等で撮影を行う場合は、必ず事前に受付をして、主催者が用意したビブスを着用すること。
 - (4) 観戦をしている中で、競技運営に重大な支障をきたすような発言やヘイトスピーチと取られる発言や看板等の掲示等があった場合、または他の観戦者に多大な迷惑を掛けていると判断した場合は退場を求める。
25. その他
 - (1) 係・役員以外の本部前の通行は禁止とする。ただし、競技役員誘導の下退場する場合は、その限りではない。
 - (2) テント設営は、補助競技場のトラック周りやメイン競技場芝スタンド裏側など、周辺の通行に支障がない箇所に設置を認める。競技場と県営体育館の間の円芝生への設置は認めない。また、メインスタンドダックアウトについては、密を防ぐため、場所取りやテントの設営などの使用を禁止する。
 - (3) メインスタンドでの集団応援や立っての応援及びテント設営は禁止する。
 - (4) 更衣室にシートを敷いての場所とりや独占は禁止する。また、密を防ぐため、最大15名定員で更衣が終了次第すぐに退出すること。係員の指示に従うこと。
 - (5) 「のぼり」「横断幕」の設置はメインスタンドの最上段のみとする。
 - (6) 本大会は、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
 - (7) **本競技場での練習は、3日間とも9時00分までとする。**それ以降は補助競技場を利用すること。ただし、跳躍および投てき種目の練習（用具を持たずにターンや助走の練習は可）の補助競技場の使用は禁止とする。
 - (8) 跳躍および投てき種目の本競技場での練習については、プログラム記載の競技開始時刻40分前から10分前（30分間）までとする。
 - (9) 本競技場の混成競技の待機場所となっているため、ウォーミングアップ等では使用しない。
 - (10) 競技場の開門は3日間を通じて6時30分とする。